

阿蘇医療センター広報誌



Take Free

ご自由にお持ちください

開院特別号

2014年11月発行

阿蘇医療センター理念

本院は、地域の中核病院として、地域の医療機関や関連施設等と連携を図りながら、患者の視点に立った医療の提供を実践し、地域住民の健康維持と福祉の向上に貢献する。



Contents

- | | |
|---------------|---------------|
| 01 表紙 | 09 受付・診療時間 |
| 02 事業管理者あいさつ | 10 外来受付・受診の流れ |
| 03 基本設計のコンセプト | 11 トピックス |
| 04 院内配置図 | ボランティア活動員募集 |
| 06 施設の概要 | 職員募集 |
| 08 外来診療体制 | 12 編集後記 |

職員募集
看護師
薬剤師
診療放射線技師



阿蘇医療センター
事業管理者 甲斐 豊

中核病院として責任ある医療を

阿蘇中央病院は、平成元年には年間300例ほどの手術実績があり、地域の人たちにも「ここに連れて来ればどうにか治してもらえる」と言われたように、とても信頼されていたと聞いています。しかし、熊本市内をはじめ、他の病院の医療機器の充実などにより、受診者が少なくなっていました。

現在国民健康保険では年間約30億円超、社会保険を含めると相当額が診療費として熊本市内の医療機関に支払われています。

その内の一部でも阿蘇市内の医療機関で受診してもらえれば、市内での間接的な需要も増大し、経済的にも好循環が生まれると思われます。

私は、今年1月に就任しましたが、阿蘇地域の中核病院でありながら、地域住民に信頼されていないという現状を知りました。それを払拭しようと「信頼と責任」を新しく病院の経営理念に掲げ、病院の名称も「阿蘇中央病院」から「阿蘇医療センター」に刷新し、8月6日に診療を開始致しました。地域住民に「信頼」される病院、「責任」のある医療の提供を目指し、スタッフ一同取り組んでまいります。

基本理念

本院は、地域の中核病院として、地域の医療機関や関連施設等と連携を図りながら、患者の視点に立った医療の提供を実践し、地域住民の健康の維持と福祉の向上に貢献する

基本方針

- 一、地域住民の希望、期待、要求に対応した適正な医療の提供
- 二、生命の尊重を基本とした安全安心で良質な医療の提供
- 三、医学・医療の進歩に沿った知識・技術の修得と医療水準の向上

新病院施設の概要

所在地	阿蘇市黒川1266番地
構造	鉄筋コンクリート造（一部4階建）
病棟	外来棟（耐震構造）、中央診療棟、病棟（免震構造）
面積	建築面積：約 6,064平方メートル 延床面積：約11,230平方メートル 敷地面積：約26,335平方メートル
病床数	124床（一般：120床、感染症4床）
救急対応設備	救急ヘリ離発着場
高度医療設備	MRI装置、CT装置、血管撮影装置など
診療科	内科（神経内科含む）、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、皮膚科、麻酔科

阿蘇医療センター 8月6日開院

基本設計のコンセプト

外来・検査を1階に集約、分かりやすさと外来患者の移動負担の軽減、迅速に部門連携できる医療施設

- ▶効率的な人・物の流れ、部門間の連携を重視した部門配置
- ▶院内感染対策への配慮

外来・診療棟・病棟の分棟配置による柔軟性の高い機能的な施設計画

- ▶各棟の機能に適した構造（柱配置）・設備計画
- ▶2重床の採用による柔軟性の高い施設計画

災害に強い阿蘇の拠点病院としての施設計画

- ▶診療棟及び病棟は免震構造、外来棟は地震力割増による耐震構造を採用
- ▶耐震安全性の確保とコストバランスに配慮
- ▶災害時や停電時における信頼の高い設備計画
- ▶災害時に医療活動の場として活用できるエントランス・講堂・中庭

コンパクトな動線による移動負担軽減と
看守りやすく安心感のある病棟計画

- ▶看護動線を短縮した効率的な病棟計画
- ▶見通しのきくスタッフステーション

阿蘇五岳など風光明媚な風景との調和、
こころのゆとりを大切にした阿蘇ならではの医療施設

- ▶阿蘇五岳などの風景と緑豊かな環境と調和した施設計画
- ▶阿蘇ならではの360°のロケーションを活かしたパノラマ病棟

阿蘇の自然の恵みを最大限活用した、人と環境にやさしく、
ランニングコスト軽減を図る医療施設

- ▶積極的な自然採光・換気により、明るく気持ちのよい療養環境づくり
- ▶自然光を積極的に採り入れ、人工照明に頼らない計画
- ▶LED照明の採用による消費エネルギーの削減
- ▶梅雨時期の低温多湿時の除湿制御換気システムの導入

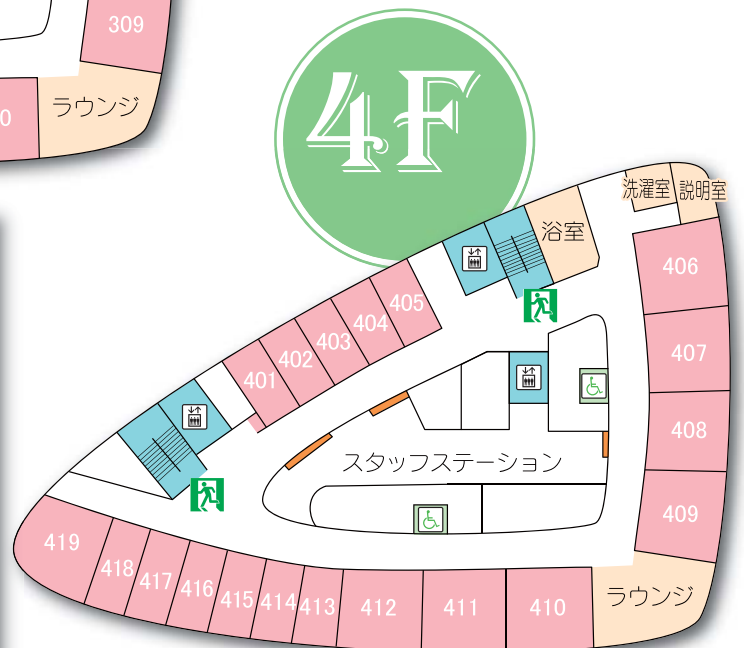
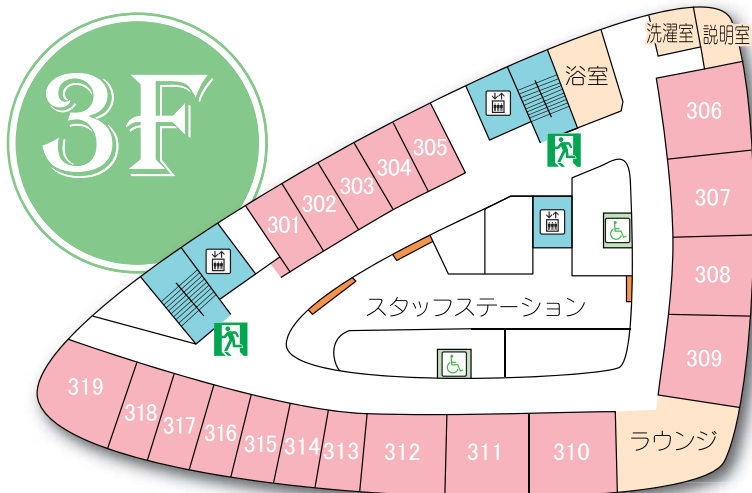
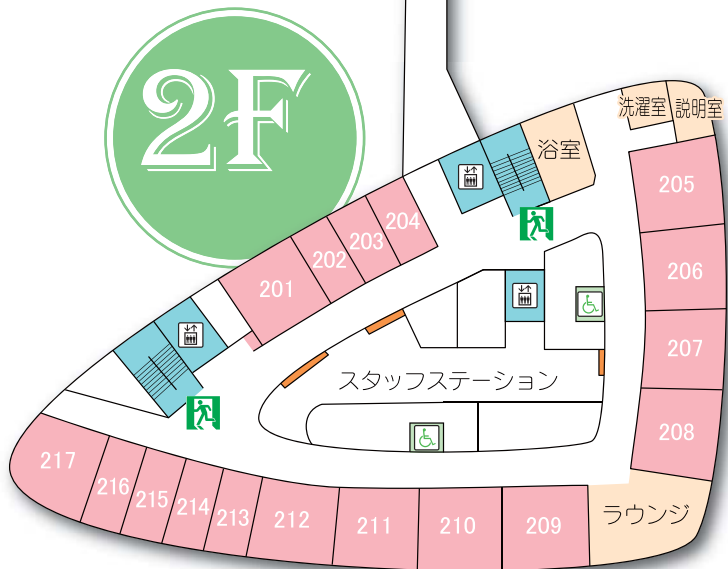
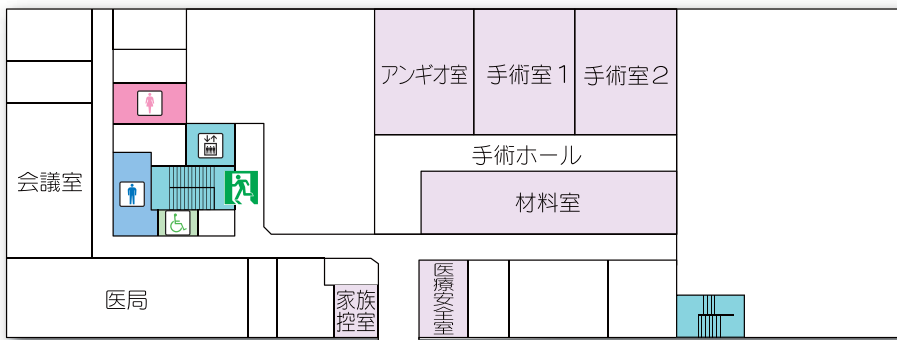
建物構成

外 来 棟	中央診療棟	病 棟	
		4階病棟【一般病棟】40床 (うち感染症病床4床)	4階
		3階病棟【一般病棟】40床	3階
	手術室・アンギオ室	2階病棟【一般病床】44床	2階
講堂・ラウンジカフェ 外来診察室・売店・ATM	救急処置室・MRI・CT・内視鏡 レントゲン・エコー・心電図	人工透析室・リハビリテーション室 健診室・薬局・栄養管理室	1階
耐震構造		免震構造	

院内配置図

1F





阿蘇医療センターは、免震構造の設置や災害時の傷病者受入れの
そのデザインは阿蘇の大自然との調和・融合に配慮したものと

災害に対応した阿蘇地域の 拠点病院としての施設



診療棟・病棟は地下室に140基の免震設備（写真）が施されており、震度7の地震にも耐えることができます。

外来・検査を1階に集約し、 外来患者の移動負担を軽減した施設



正面玄関から入ると広いロビーがあり、受付窓口から外来へすぐにアクセスできます。

人と環境にやさしく、 コスト軽減が図られた医療施設



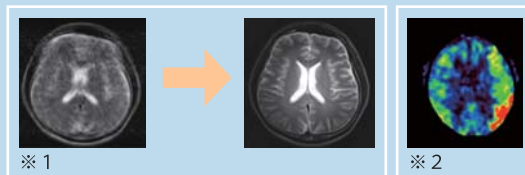
自然光がたっぷり入る施設設計で人工照明にたよらない明るい施設内。

風光明媚な風景との調和、 阿蘇ならではの医療施設



季節に移りゆく阿蘇の景色を眺望できる病室です。

MR I 装置（超電導磁気共鳴診断装置）



体動補正技術により、アーチファクトの少ない画像が得られます。また、非造影で脳血流画像や全身のMRアンギオが可能です。慢性的な首や腰の痛み、肩・膝痛の診断やスポーツによる関節痛の診断に大きく寄与します。

X線循環器診断システム



バイファスームに撮影が検査時間の短縮ができます。脳血管でも、3Dアンギオ等でスピーデズの少ない画像を提供できます。

概要

のスペースを確保した災害拠点病院としての機能を備える一方、
なっております。設計ポリシーに沿って各施設を紹介します。

看取りやすさとスタッフ間連携に配慮した たまご型スタッフステーション



たまご型のスタッフステーションで病室全てに目が届きます。

救命救急の要となる 敷地内ヘリポート



夜間離発着にも対応可能な設備を有しています。

様々な障がいに対応する リハビリテーション室



リハビリ対応機器が充実し、病棟横にリハビリ庭園が整備されました。

手術室2室と、血管撮影室を整備



開院後早速活用されています。

finix Celeve-i)

C T装置 (コンピューター断層装置)



80列マルチ
ディテクタ
(検出器)
搭載な
ので、1回
の息止めで
全身の検査
が

でき、被曝を押さえて心臓をはじめ全身の血管の造影画像をアーチファクトが少ない状態で提供できます。最速0.35秒/回転

X線透視台 (EXAVISTA DR)



±35度までX線管の斜入が可能なので嚥下造影も無理なく検査ができます。

DR (デジタルラジオグラフィ)

方式を採用し、あらゆる検査において小さな病変を見逃さずクリアな画像を提供できます。

プレーン
により2方向
が同時にでき
管領域におい
イーかつノイ

阿蘇医療センター 外来診療体制

平成26年11月1日現在

		月	火	水	木	金
内 科	午前	湯本 信也 ・産業医 山口 一成 ・日本血液学会専門医 ・日本内科学会認定医	由布 哲夫 ・日本内科学会認定医 ・日本心血管インター ベンション治療学会 認定医 中本 弘作	湯本 信也	佐藤 英明 ・日本内科学会認定医	湯本 信也
	午後	由布 哲夫				
循環器内科	午前	永吉 靖央 ・日本循環器学会循環 器専門医 ・日本内科学会内科認定医 由布 哲夫	由布 哲夫	永吉 靖央	田畑 範明 ・日本内科学会認定医	永吉 靖央
	午後	由布 哲夫				
神経内科	午前				三浦 正智	
	午後				三浦 正智	
呼吸器内科	午前		須加原 一昭 (第1・3・5週) ・日本呼吸器学会専門医 ・日本内科学会認定医			
リウマチ 膠原病内科	午前			中村 正 (第3週のみ) ・リウマチ専門医 ・血液専門医・指導医		
	午後			中村 正 (第3週のみ)		
脳神経外科	午前	甲斐 豊 ・脳神経外科専門医 ・脳卒中専門医 ・脳血管治療指導医 ・頭痛専門医	甲斐 豊	曽山 直宏 ・脳神経外科専門医 ・日本脳神経外科学会 認定医	甲斐 豊	甲斐 豊
消化器外科	午後			近本 亮 ・日本外科学会専門医 ・日本消化器学会専門医		熊大病院 (ローテ医)
乳腺 内分泌外科	午後			岩瀬 弘敬 (第3週のみ) ・日本外科学会指導医・ 専門医・認定医 ・日本乳癌学会専門医・ 認定医		
整形外科	午前					湯上 正樹
	午後			橋山 元浩		湯上 正樹
リハビリ テーション科	午前			大串 幹 ・日本整形外科学会 専門医 ・日本リハビリテー ション医学会専門医		
	午後			大串 幹		
皮膚科	午前	工藤 淳 (受付11:00まで) ・日本皮膚科学会認定 皮膚科専門医				
小児科	午前	橋山 元浩	熊大病院 (ローテ医)	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩
	午後	橋山 元浩	熊大病院 (ローテ医)	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩

受付・診療時間

一般外来

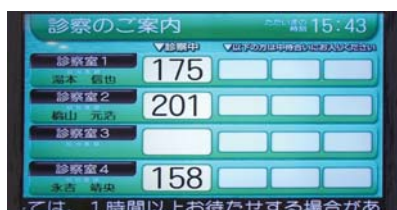
午前 受付時間 8時30分～11時30分（診療時間 9時00分～12時00分）
 ※皮膚科（月）は11時までの受付となります。
 午後 受付時間 13時00分～16時30分（診療時間 14時00分～17時00分）

小児科

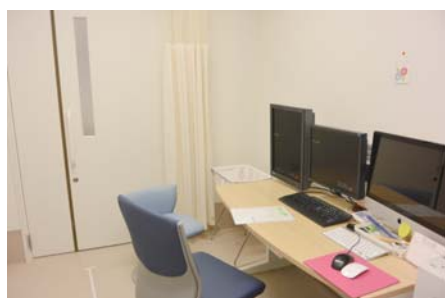
〔月・水・木・金〕 ※火曜日は一般外来と同じ時間です。
 午前 受付時間 8時30分～11時30分（診療時間 9時00分～12時00分）
 午後 受付時間 13時00分～18時00分（診療時間 14時00分～18時15分）



▲ 外来受付



▲外来待合室には診察案内モニターが6カ所設置されております。受付で渡される外来案内カードに、受付番号が記載されておりますので、ご自分の受付番号をお確かめの上、待合室でお待ちください。順番になりますと、音と表示でお知らせします。



▲ 診察室



▲ 化学療法室

救急外来について

阿蘇医療センターでは24時間体制で当直医が診療いたします。ただし、当直医によって専門外の疾患もございますので事前にお電話でご確認ください。



▲ 救急外来入口

敷地内各所に救急外来入口の案内看板を配置しています。



☎0967-34-0311

外来受付・受診の流れ

◆初診の方の受付

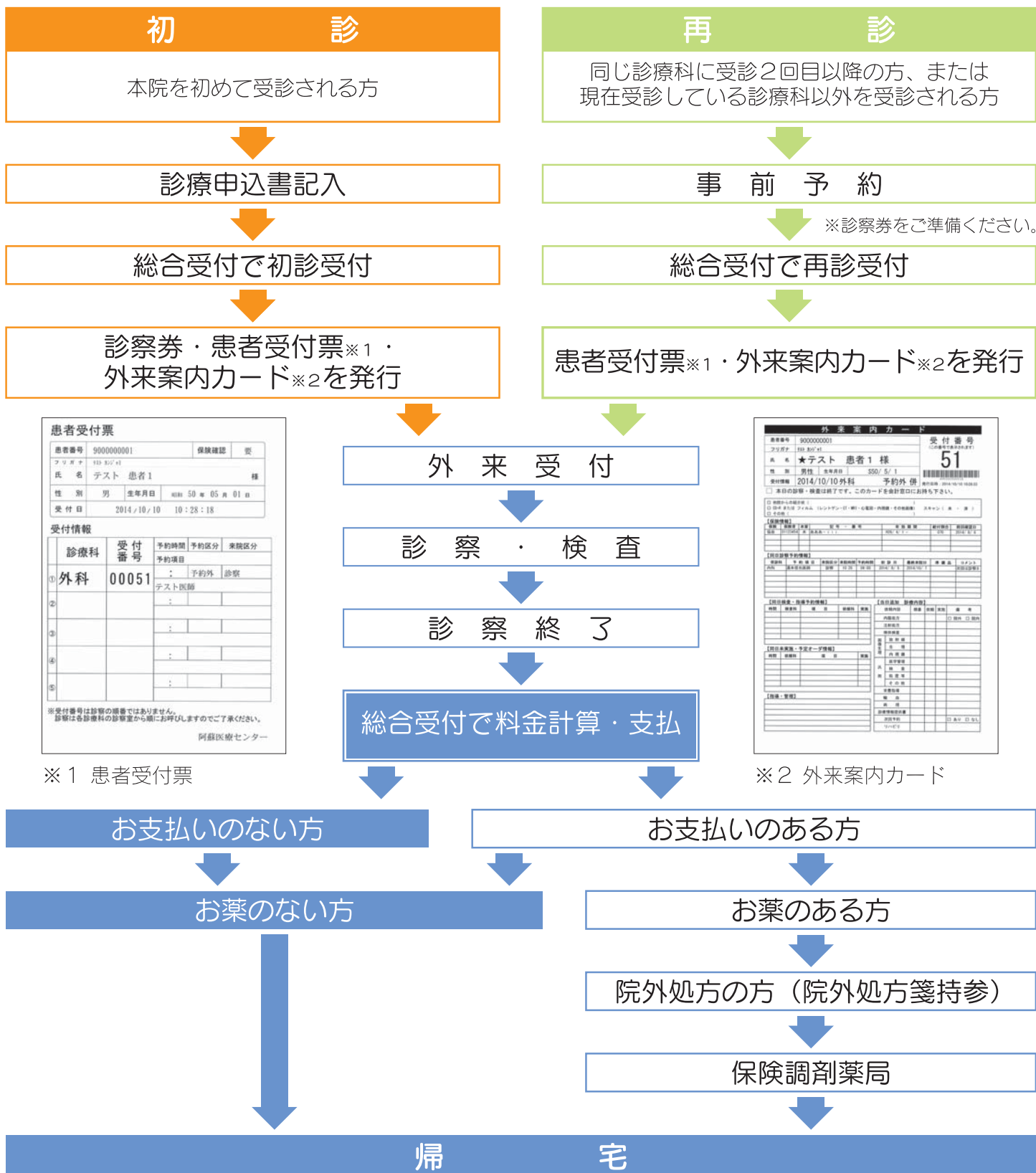
- ①診療申込書の記載をお願いします。（記載台をご利用ください。）
- ②総合受付で初診受付をされる際に、診療申込書と保険証等を提出してください。（診療申込書・保険証・高齢者受給者証・紹介状など）

◆再診の方の受付

新しい診察券を発行しますので、旧病院の診察券を提出してください。



▲新しい診察券はこちらです。



トピックス

■ ヘリ離着陸訓練

9月17日(水)の午後、当院のヘリポートに熊本赤十字病院からドクターヘリが飛来し、ヘリポートの離発着の試用検査、スタッフによる患者の受入れ訓練が行われました。

ドクターヘリは阿蘇広域消防本部のレスキュー隊員の誘導で着陸し、ドクターヘリのスタッフが当院の救急外来のスタッフに患者を引き継ぐ訓練が行われ、その後、熊本赤十字病院の医師から、離着陸時の注意事項や患者家族への説明内容等について説明がありました。また、パイロットからは、ヘリポートは施設上は問題がないことや、照明の点灯・消灯のタイミング等について説明がありました。



また、10月1日(水)の午後には、防災ヘリ「ひばり」での訓練が実施され、同様に離発着の試用検査、患者の搬送・受入れ訓練が行われました。終了後に、熊本防災消防航空センターの隊員から、訓練の講評と離着陸時の注意事項等について説明がありました。

ドクターヘリ及び防災ヘリの当院のヘリポート使用は既に許可になっており、訓練を経て運用上も問題がないことが確認されましたので、今後、出動要請があれば両機による患者搬送が可能となりました。

ボランティア活動員の受入れ募集

このたび、ボランティアの方の受入要領や活動内容等についてルールを定め、当院でボランティア活動を行っていただける方を募集することになりました。

応募要領や活動内容等につきましては、医事係にお問い合わせをお願いします。

多くの方のご応募をお待ちしております。

◆問い合わせ先◆ 阿蘇医療センター 医事係 ☎0967-34-0311 内線730

職員募集

看護職員募集

募集内容： 正規職員 約10名
採用予定日： 平成27年4月1日
選考方法： 小論文及び面接試験
受付期間： 平成27年1月1日(木)
～31日(土) 17:00まで
試験日時： 平成27年2月10日(火) 14:00～

薬剤師募集

募集内容： 薬剤師 5名
採用予定日： 採用予定者と面談のうえ決定
選考方法： 小論文及び面接試験
受付期間： 随時
試験日時： 受験者に通知

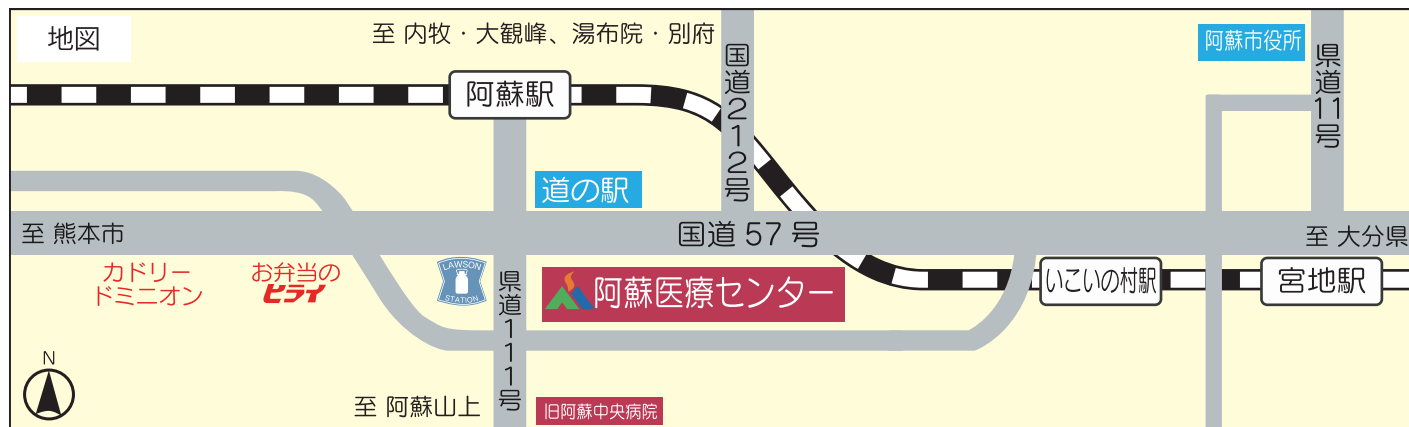
診療放射線技師募集

募集内容： 診療放射線技師 1名
採用予定日： 平成27年4月1日
選考方法： 小論文及び面接試験
受付期間： 平成27年1月1日(木)
～31日(土) 17:00まで
試験日時： 平成27年2月10日(火) 14:00～

連絡先

阿蘇医療センター 企画管理係
〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266
電話0967-34-0311(代)

応募書類、応募方法等は当院ホームページをご覧ください。
だくか、左記の連絡先までお問い合わせください。



編集後記

新病院が8月6日(水)にオープンして、二カ月余りが経ちました。

今回の広報誌は、少し遅くなりましたが新病院紹介の特集号としました。

病院の移転と電子カルテシステムの導入という劇的な環境の変化の中で、システムに不馴れであったり、職員間の連絡・連携作業がかみ合わなかったりして、特に外来の患者さんには予約されているにもかかわらず、長時間お待たせすることがたびたびあり、大変なご迷惑をおかけしております。

それでも、全ての従業員が新しい環境に馴れ、周囲のことにも余裕をもって配慮が届くように、問題点は日々改善し、業務の流れやサービスの提供がスムーズになるように取り組んでおります。行き届かない点につきましては、いましばらくの間、ご容赦いただきますようお願いいたします。

平成26年11月 阿蘇医療センター広報委員会

阿蘇医療センター

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266 TEL0967-34-0311 (代) FAX0967-34-2273 (代) <http://www.aso-mc.jp>